



CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 11月25日、医療安全全国フォーラムが開催されました
- 支援ツールをアップしました
- 目標3b/教材ビデオ「リアルタイム超音波ガイド下中心静脈カテーテル穿刺・挿入法」他
- パートナーズの活動
- 医療の質・安全学会の活動/第6回「新しい医療のかたち」賞の受賞者が決まりました
- フォーラム・セミナー等のご案内
- フォーラム・セミナー等のご報告
- 第14回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in沖縄が開催されました
- 平成24年度医療安全管理シンポジウム(静岡県西部地区)が開催されました

- 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net
- 参加登録病院用のバナーをご活用ください
→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A→ <http://kyodokodo.jp/faq.html>
参加登録事項変更方法のご案内
→ http://kyodokodo.jp/touroku_naiyou.html
- キャンペーンポスターをご利用ください
完成版→ http://kyodokodo.jp/shiryou_koho.html
基本デザイン→ [パートナーズ専用ページ/メニュー](#)
- 共同行動HPのご利用ガイド
→ <http://kyodokodo.jp/doc/120629HpRiyuGuide.pdf>

共同行動からのお知らせ

11月25日、医療安全全国フォーラムが開催されました



11月25日(日)に大宮ソニックシティにおいて医療安全全国フォーラムが開催されました。全国から350名の方々が参加し、安全目標の達成に向けて決意を新たにしました。

午前中は「安全な医療システムの構築をめざして—共同行動に期待すること」と題したパネル討議、特別報告(診療所と中小医療機関の安全対策)などのプログラムを通じて、医療安全の現状と共同行動の課題を明らかに



パネル討議

しました。高久議長の総括講演では、3月に第2期キャンペーン事業を終えるが、継続的な取り組みを可能にするために共同行動の推進母体となる法人を設立することが提案されました。

午後は3つの分科会に分かれて「9つの目標を達成するために—どうやって変化をつくり出すか?」と題して、各4～6施設の取り組み事例の発表と討議がおこなわれました。具体的な提案や助言など活発なやりとりが繰り広げられ、参加された皆さまそれぞれに目標達成への何らかのヒントを持ち帰ることができたことと思います。

また、分科会と並行して開催された共同行動連絡会議では、参加団体と地域推進拠点から医療安全の取り組みの現状や問題点が報告され、新たなステージに向けて真摯な意見交換がおこなわれました。

支援ツールをアップしました

目標3b／教材ビデオ「リアルタイム超音波ガイド下中心静脈カテーテル穿刺・挿入法」他をアップしました

行動目標3b支援ツールとして次の2点をTool Box内にアップいたしましたので、どうぞご覧ください。

- ・教材ビデオ「リアルタイム超音波ガイド下中心静脈カテーテル穿刺・挿入法」
- ・ガイド資料「内頸静脈穿刺時の動脈誤穿刺を防ぐ!」

* 公開ページ → トップページメニュー「9つの行動目標と推奨対策」 → **TOOL BOX** のボタンをクリックするとログイン画面になります → メールアドレス(またはID)とパスワードを入力してログインしてください。

なお、教材ビデオは、パートナーズ専用ページ(参加登録施設向け)からダウンロードしてご利用いただけるようになりました。ぜひ院内にてご活用ください。

* パートナーズ専用ページのトップページ左側メニューの下の **支援ツール** のボタンをクリックしてください。

パートナーズの活動

医療の質・安全学会の活動

第6回「新しい医療のかたち」賞の受賞者が決まりました

医療の質・安全学会(高久史磨理事長)では、2007年より、毎年、患者本位の医療をめざす「新しい医療のかたち」を指し示す注目すべき活動の推薦(自薦・他薦)募集をおこなっています。学会の委嘱を受けた選考委員会(9人の医療ジャーナリストで構成。選考委員長 大熊由紀子 国際医療福祉大学大学院教授)による選考の結果、このたび下記の3つの活動が、第6回「新しい医療のかたち」賞に選ばれました。

- ① 患者を中心とした取り組み部門
ハーモニー
- ② 医療者・医療機関を中心とした取り組み部門
暮らしの保健室
- ③ 地域社会の取り組み部門
三方よし研究会

活動の概要は、<http://qshsp.ec-net.jp/Documents/2012iryokatati.pdf> をご参照ください。

また、各活動の代表による活動紹介と表彰式は、11月24日、第7回医療の質・安全学会学術集会(大宮ソニックシティ)の中で行われました。

<http://www2.convention.co.jp/jsqsh2012/>

フォーラム・セミナー等のご案内

「共同行動カレンダー」を定期的にチェックしてご利用ください。イベントのタイトルをクリックすると詳細が表示されます。

9目標に関連するフォーラム、セミナー、シンポジウム、講習会

NEW! 平成24年度エコーガイド下中心静脈カテーテルハンズオンセミナー(目標3bに関連)

日程：2012年12月1日(土) 13:30～16:30

会場：静岡県産業経済会館 3階 大会議室

主催：公益社団法人静岡県病院協会

* 詳細は <http://www.shizuoka-bk.jp/seminar/detail.php?N=50> をご覧ください。

平成24年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者講習会(東京2会場)(目標1に関連)

日程：2012年12月14日(金)

会場：東京医科歯科大学M&Dタワー・鈴木章夫記念講堂

<http://www.tmd.ac.jp/outline/campus-map/index.html>

主催：日本病院薬剤師会

* 詳細は <https://www.jshp.jp/2012anzen/> をご覧ください。

NEW! 医療安全管理者養成研修会(すべての目標に関連)

日程：2013年3月11日(月)～3月15日(金)

会場：日本精神科看護技術協会東京研修会場(東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F)

主催：日本精神科看護技術協会

* 詳細は <http://www.jpna.jp/> からご覧ください。

[その他のセミナー]

第16回セデーショントレーニングコース in 兵庫医科大学

日時：2012年12月1日(土) 13:00～17:00

会場：兵庫医科大学中央手術部

第18回セデーショントレーニングコース in 和歌山県立医科大学

日時：2012年12月15日(土) 13:00～17:00

会場：和歌山県立医科大学 高度医療人育成センター2階

NEW! 第19回セデーショントレーニングコース in 兵庫医科大学

日時：2013年1月19日(土) 13:00～17:00

会場：兵庫医科大学1号館5階中央手術室

NEW! 第20回セデーショントレーニングコース in 旭川医科大学

日時：2013年1月26日(土) 12:30～17:00

会場：旭川医科大学 シミュレーションセンター

主催：日本医学シミュレーション学会(JAMS)

* 詳細はJAMSホームページ (http://www.jsdam.com/index_in.php) をご覧ください。

フォーラム・セミナー等のご報告

第14回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in沖縄が開催されました

改善活動の継続こそが「医療の質向上」に繋がる

第14回フォーラム医療の改善活動全国大会in沖縄 大会長
宮里 善次 (社会医療法人敬愛会 中頭病院院長)

去る10月12日・13日、沖縄県宜野湾市におきまして第14回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in沖縄を開催いたしました。大会は全国35都道府県・130施設より512名の参加者を迎え、鼎談、教育講演、事例発表115演題を行いました。

今大会のテーマは「展望から実践へ」と題し、改善発表の取り組み内容が密に交流され、参加者が改善に取り組む本質を理解することで展望を描き、所属する医療機関で実践されることを目的としました。



宮里善次大会長

大会は医療のTQM推進協議会理事長、上原鳴夫の「コアバリューを意識した改善活動への取り組みに期待し、各々の取り組みが日本の医療、ひいては世界の医療の質向上へと繋がることに期待する」という挨拶に始まり、大会長宮里善次の「敬愛会におけるTQMの取り組み」と題した基調講演を皮切りにスタートしました。

初日の鼎談「バージニア・メイソン医療センターに変革をもたらしたのものづくりの原点を探る〜では、安藤廣美氏(麻生飯塚病院特認副院長)のファシリテートにて、中尾千尋氏(新技術研究所代表取締役兼主)と立川洋一氏(大分岡病院副院長)が実現場を想定した改善のロールプレイを行い、実践的かつ具体的なトップマネジメントによる改善方法が教示されました。

2日目の教育講演では、「ナレッジマネジメント」〜学習する組織づくり〜と題して中山康子氏(株式会社東芝研究開発センター研究企画部企画担当参事)が登壇しました。「コンピュータ技術の進歩がもたらした弊害として、公開的であった作業場が閉鎖的なパソコンの中へと移行され、作業者の思考プロセスはさらに読み取りづらくなり、先輩の背中から学べなくなった時代に突入した。暗黙知を可視化し人を育てるシステムを組織で構築することにより、個の知が組織知へと変換され、継承・共有し、活用することで製品(サービス)の価値を最大化することが出来る」といった内容に、多くの聴講者が聞き入りました。

2日を通して115題の事例発表においては、「医療の質」を追求する真摯な姿勢が本大会のテーマに沿って展開され、白熱した質疑応答は割り当てられた発表時間の調整に苦慮させられる程となりました。

医療行為とは、本質的にリスクを伴う行為といわれるなか、発表者は安全を基軸とし、確実で効率的にそしてES・CSを追い求める様々な発表を行い、22演題の優秀賞が選出されました。



会場風景

一昔前の一方通行的な医療者側からの医療提供は跡形も無く消え去り、今日の医療はチーム、そして組織横断的な活動へと進化を遂げつつあります。この進化の過程には様々な課題に対する改善活動があり、この改善活動の継続こそが「医療の質向上」に繋がると再認識する大会となりました。

平成24年度 医療安全管理シンポジウム(静岡県西部地区)が開催されました

学びの多い演題発表で課題が明確に

静岡県西部地区担当病院 浜松赤十字病院
医療安全専従リスクマネージャー 櫻井 恵子

平成24年10月22日(月)18時より浜松医師会館にて開催された。静岡県内の病院関係者136名が参加して行われた。

[参加者内訳] 県西部22施設128名、県中部1施設2名、県東部2施設2名、未入会2施設3名、他1名

演題発表:5題

1. 他職種による転倒転落カンファレンスを実践に活かす
転倒転落防止のために他職種でラウンド・カンファレンスを実施し効果を得た実践報告
2. 病院全体の改善活動につなげるための当院の取り組み
静脈血栓塞栓症の予防対策・抗血栓薬中止規約・事例検討会の取り組みの実践活動報告
3. 永久気管孔安全管理カードの運用
他院で発生した事例を当施設での問題と捉え対応した実践報告
4. 病棟でのRCA分析の実践事例
院内ではじめての分析手法を病棟で実践した報告
5. 当院におけるリスク削減ツールFMEAの実践事例
事後対策分析でなく未然に防止するツールの必要性和実践報告



静岡県病院協会 参与
奥田康一(浜松赤十字病院院長)

シンポジウム

各施設のインシデント事例とともに分析方法および実践評価・効果等の発表があった。施設の分析を自施設に当てはめての意見や質問があり、学びの多い演題発表となった。また、シンポジウムでは発表に基づいたそれぞれの施設での取り組み方が紹介された。事例分析は各施設で異なり、事例にあわせて分析方法を変えていたり、統一した分析方法にRCAを取り入れる取り組みをしていたり、未然防止分析の使用と様々であった。各施設とも事例の選択や時間の問題等があげられ、今後の課題となった。また事故が発生する前に事前にリスクを感知して防止するシステムの構築の必要性が討論された。

今回の発表では、これまで発表のなかった施設からの演題もあり、より広範な施設間の交流に繋がったシンポジウムであった。これを機会に更なる安全管理を多くの施設で共有し、患者・医療従事者の安全に寄与したい。

* フォーラムやセミナーの報告は、[公開ページ/トップページ](#) → [メニュー「フォーラム/セミナーの報告」](#) からご覧になれます。



シンポジウム

フォーラム・セミナー等のスケジュール

2012年	12月1日(土)	平成24年度エコーガイド下中心静脈カテーテルハンズオンセミナー
	12月1日(土)	第16回セデーショントレーニングコース in 兵庫医科大学
	12月14日(金)	日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者講習会(東京2会場)
	12月15日(金)	第18回セデーショントレーニングコース in 和歌山県立医科大学
2013年	1月19日(土)	第19回セデーショントレーニングコース in 兵庫医科大学
	1月26日(土)	第20回セデーショントレーニングコース in 旭川医科大学
	3月11日(月)～15日(金)	医療安全管理者養成研修会

★ウェブマガジンは毎月1回、配信いたします。院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”

ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室

E-mail: secretariatpartners@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>